

## 製品安全データシート

### 1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	ブラボー
製品コード	AK7207J
会社名	アグロ カネショウ株式会社
住所	〒107-0052 東京都港区赤坂4-2-19 赤坂サステイスト7F
電話番号	03-5570-4711 (所沢事業所:04-2003-7006)
緊急時の電話番号	同上
FAX番号	03-5570-4708 (所沢事業所:04-2003-7302)
メールアドレス	<a href="mailto:toiawase@agrokanesho.co.jp">toiawase@agrokanesho.co.jp</a>
推奨用途及び使用上の制限	農薬(展着剤)

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分3
	自然発火性液体	区分外
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分外
	皮膚感作性	区分外
	生殖毒性	区分2
	特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分1
環境に対する有害性	特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	区分2
	水生環境急性有害性	区分3

※記載がないものは「分類対象外」または「分類できない」

#### 絵表示又はシンボル



#### 注意喚起語 危険有害性情報

危険  
 H226 引火性液体および蒸気  
 H315 皮膚刺激  
 H361 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い  
 H370 臓器の障害  
 H373 長期にわたる、又は反復暴露による臓器の障害のおそれ  
 H402 水生生物に有害

#### 注意書き

【安全対策】  
 P233 容器を密閉しておくこと。  
 P210 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。—禁煙  
 P280 保護手袋、保護衣、保護眼鏡を着用すること。  
 P243 静電気放電に対する予防措置を講ずること。  
 P241 防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。  
 P242 火花を発生させない工具を使用すること。

P264 取り扱い後はよく洗うこと。  
 P201 使用前に取扱説明書を入手すること。  
 P202 全ての安全性注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
 P270 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
 P260 ミスト、蒸気を吸入しないこと。  
 P273 必要なとき以外は環境への放出は避けること。  
**【応急措置】**  
 P303+P361+P353 皮膚又は髪に付着した場合、汚染された衣類を直ちにすべて脱ぐこと。皮膚を流水で洗うこと。  
 P302+P352 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。  
 P361+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。  
 P332+P313 皮膚刺激が生じた場合、医師の手当てを受けること。  
 P308+P313 暴露又は暴露の懸念がある場合、医師の診断を受けること。  
 P314 気分が悪い時は、医師の手当てを受けること。  
**【保管】**  
 P403+P235 換気のよい場所で保管すること。涼しいところに置くこと。  
 P405 施錠して保管すること。  
**【廃棄】**  
 P501 内容物、容器を都道府県知事／市町村の規則に従って、適切に廃棄すること。

**3. 組成及び成分情報**

単一製品・混合物の区別  
 成分及び含有量

混合物

[有効成分1]  
 化学名又は一般名  
 CAS番号:  
 官報公示整理番号  
 (化審法・安衛法)  
 濃度又は濃度範囲

ソルビタン脂肪酸エステル(非イオン系界面活性剤)  
 1338-43-8  
 化審法: 8-63  
 安衛法: -  
 48%

[有効成分2]  
 化学名又は一般名  
 CAS番号:  
 官報公示整理番号  
 (化審法・安衛法)  
 濃度又は濃度範囲

ポリオキシエチレン脂肪酸エステル(非イオン系界面活性剤)  
 -  
 化審法: -  
 安衛法: -  
 28%

[有効成分3]  
 化学名又は一般名  
 CAS番号:  
 官報公示整理番号  
 (化審法・安衛法)  
 濃度又は濃度範囲

ポリナフチルメタンスルホン酸ジアルキルジメチル  
 アンモニウム(陰イオン系界面活性剤)  
 -  
 化審法: -  
 安衛法: -  
 2.5%

[その他の成分1]  
 化学名又は一般名  
 CAS番号:  
 官報公示整理番号  
 (化審法・安衛法)  
 濃度又は濃度範囲

イソプロピルアルコール  
 67-63-0  
 化審法: 2-207  
 安衛法: -  
 11.5%

[その他の成分2]  
 化学名又は一般名  
 濃度又は濃度範囲

水等  
 10%

**4. 応急措置**

**吸入した場合** 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、医師の診断、手当てを受けさせること。

**皮膚に付着した場合** 汚染された衣類を取り除き、石鹼と多量の水で洗い流すこと。皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けさせること。

**目に入った場合** 直ちに水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けさせること。

**飲み込んだ場合** 無理に吐かせないで直ちに医師の診断、手当てを受けさせること。

**5. 火災時の措置**

**消火剤** 水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類

**使ってはならない消火剤** 棒状放水

**特有の危険有害性** 火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。

**特有の消火方法** 危険でなければ火災区域から容器を移動する。消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

**消火を行う者の保護** 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

**6. 漏出時の措置**

**人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置** 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵等を吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を待避させる。

**環境に対する注意事項** 流出した製品が河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

**封じ込め及び浄化方法・機材** 回収後の少量の残留分は土砂またはおがくず等に吸収させる。漏出物を直接に河川や下水に流してはならない。

**7. 取扱い及び保管上の注意**

**取扱い 技術的対策** 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

**局所排気・全体換気** 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。

**注意事項** みだりにエアロゾル、粉塵が発生しないように取り扱う。

**安全取扱い注意事項** 屋外または換気の良い場所で取り扱うこと。粉塵等を吸入しないこと。眼、皮膚、衣類に付けないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。

**保管 保管条件** 直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管する。

**容器包装材料** 施錠して保管すること。データなし。

**8. ばく露防止及び保護措置**

設備対策		粉塵やミストが発生する場合、局所排気装置を設置すること。
管理濃度		設定されていない。
許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)		設定されていない。
保護具	呼吸器の保護具 手の保護具 眼の保護具 皮膚及び身体の保護具	適切な呼吸器保護具(保護マスク)を着用すること。 適切な保護手袋(不浸透性手袋)を着用すること。 適切な眼の保護具(ゴーグル型保護眼鏡)を着用すること。 適切な保護衣(耐薬品性エプロン等)を着用すること。
衛生対策		この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

### 9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	形状	液体
	色	淡黄赤色
	pH	データなし
比重(密度)		データなし
引火点		26.7℃

### 10. 安定性及び反応性

安定性	通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	通常の条件下では安定。
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	通常の条件下では生成しない。 加熱や燃焼により分解し、有害ガスを発生するおそれがある。

### 11. 有害性情報

急性毒性 経口	ラット経口LD50 >5000 mg/kgに基づき、区分外とした。
経皮	ラット経皮LD50 >5000 mg/kgに基づき、区分外とした。
皮膚腐食性・刺激性	ウサギにおいて中等度の刺激性がみられたことから、区分2とした。
眼に対する重篤な損傷・刺激性	ウサギにおいて刺激性がみられなかったことから、区分外とした。
呼吸器感受性又は皮膚感受性	皮膚感受性: モルモットにおいて皮膚感受性がみられなかったことから、区分外とした。
生殖毒性	区分2に分類されるイソプロパノールを3%以上含有することから、区分2とした。
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分1に分類されるイソプロパノールを10%以上含有することから、区分1とした。
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	区分2に分類されるイソプロパノールを10%以上含有することから、区分2とした。

### 12. 環境影響情報

水生環境急性有害性	コイ96時間LC50値51.6mg/L、ミジンコ48時間EC50値40.3mg/L、藻類72時間EC50値23mg/Lであったことから、区分3とした。
-----------	---

### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

**14. 輸送上の注意**

<b>国際規制</b>	<b>海上規制情報</b>	IMOの規定に従う。
	UNNo.	1993
	Proper Shipping Name	FLAMMABLE LIQUID, N.O.S
	Class	3
	Packaging group	III
	Marine Pollutant	no
	<b>航空規制情報</b>	ICAO/IATAの規定に従う。
	UNNo.	1993
	Proper Shipping Name	FLAMMABLE LIQUID, N.O.S
	Class	3
	Packaging group	III
<b>国内規制</b>		輸送に関する国内法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。
<b>特別安全対策</b>		輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。重量物を上積みしない。

**15. 適用法令**

<b>農薬取締法</b>	第20105号
<b>化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)</b>	該当なし
<b>毒物及び劇物取締法</b>	該当なし
<b>消防法</b>	危険物第4類第二石油類
<b>労働安全衛生法</b>	イソプロパノール： 施行例別表第1危険物(引火性の物) 政令別表第6の2有機溶剤中毒予防規則(第2種有機溶剤)

**16. その他の情報**

**財団法人 日本中毒情報センター**

散布作業中や散布後に異常を感じた場合は、直ちに医師の手当てを受けてください。  
処置法などで不明なことは、医師から下記に電話してお尋ねください。

中毒110番	一般市民向け	医療機関専用有料電話 (1件につき2,000円)
大阪 (365日, 24時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365日, 9~21時対応)	029-852-9999	029-851-9999

- 記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。
- 注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。
- 記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。